



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月11日

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所 東
 コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 植垣 文雄 (TEL) 03-6701-1070
 I R・広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	126,342	4.7	21,773	27.1	21,066	14.3	14,529	21.8
28年12月期第1四半期	120,710	△8.0	17,128	7.5	18,423	4.6	11,924	3.3

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 7,656百万円(ー%) 28年12月期第1四半期 △2,576百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	41.32	41.21
28年12月期第1四半期	33.95	33.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	718,353	521,712	71.5
28年12月期	725,433	520,978	70.7

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 513,570百万円 28年12月期 512,959百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	ー	20.00	ー	21.00	41.00
29年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
29年12月期(予想)	ー	20.00	ー	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	250,000	2.4	34,000	△1.9	33,000	△2.0	21,000	△6.2	59.72
通期	530,000	9.2	70,000	3.2	68,000	2.7	42,000	4.0	119.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期 1 Q	354,863,603株	28年12月期	354,863,603株
② 期末自己株式数	29年12月期 1 Q	3,212,822株	28年12月期	3,363,405株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期 1 Q	351,614,654株	28年12月期 1 Q	351,252,579株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2017年1月1日～2017年3月31日)における経営環境は、日本経済は個人消費に力強さがみられないものの、輸出や生産が概ね順調であることから、企業の収益は緩やかに上向いており、景気は堅調に推移しつつあります。米国は、新政権による政策の先行きに引き続き不透明感が残るものの、雇用回復を背景に住宅投資及び個人消費が伸長し、景気は総じて好調に推移しました。欧州経済は、英国のEU離脱選択による市場への影響も現状では限定的であり、緩やかな回復が継続しました。また、中国では個人消費の減速が懸念されるものの、政府主導による諸施策の効果が表れ、徐々に景気回復が進んでいます。新興国経済も回復の兆しがみられました。

このような状況において、当社グループは「世界に存在感を示す高収益スペシャリティ化学企業」を実現すべく、2015年度よりスタートした中期経営計画「GS-STEP」において掲げた経営戦略を順次実行しています。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比5,632百万円(4.7%)増の126,342百万円、営業利益は4,644百万円(27.1%)増の21,773百万円、経常利益は2,642百万円(14.3%)増の21,066百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,604百万円(21.8%)増の14,529百万円となりました。

前連結会計年度において「活性炭事業」、「エネルギー材料事業」をその他セグメントに区分していましたが、2017年1月1日のクラレケミカル株式会社の吸収合併に伴い、当連結会計年度にはこれらの事業を「炭素材料事業」に統合し機能材料セグメントへ編入することとしました。なお、当第1四半期連結累計期間の比較及び分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は63,886百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は17,396百万円(同21.7%増)となりました。

- ① ポバール樹脂は米国市場を中心に販売量が増加し、好調に推移しました。光学用ポバールフィルムは堅調な液晶パネル市場を背景に販売量が増加しました。水溶性ポバールフィルムは引き続き需要が旺盛な個包装洗剤用途を中心に好調でした。PVBフィルムは高付加価値品の拡販が進みました。
- ② EVOH樹脂<エバール>は、食品包装用途、自動車ガソリントank用途ともに順調に拡大しました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は14,147百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は2,858百万円(同0.1%増)となりました。

- ① イソプレン関連では、ファインケミカル、熱可塑性エラストマー<セプトン>、液状ゴムは数量が伸長し、順調に推移しました。なお、一部銘柄で原燃料価格高騰に合わせ価格調整を行いました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、自動車用途、コネクタ用途、LED反射板用途のいずれも数量が伸長しましたが、原燃料価格高騰の影響を受けました。

[機能材料]

当セグメントの売上高は18,061百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は2,259百万円(同58.7%増)となりました。

- ① メタクリルは、主に樹脂の数量が伸長したことに加え、市況の回復もあり好調に推移しました。
- ② メディカルは、歯科材料の販売が好調に推移しました。
- ③ 炭素材料は、活性炭事業が堅調に推移しました。
- ④ 人工皮革<クラリーノ>は、既存プロセス品ならびに新プロセス品ともに順調に推移しました。

[繊維]

当セグメントはビニロンが原燃料価格高騰の影響を受けましたが、数量が拡大したほか銘柄構成の改善などを実施し順調に推移しました。また、生活資材も堅調に推移した結果、売上高は13,784百万円(前年同期比16.1%増)、営業利益は1,518百万円(同38.4%増)となりました。

[トレーディング]

繊維関連事業はテキスタイル分野の一部用途を除き国内衣料販売の低調が続いたものの、産業資材分野は堅調に推移しました。また、化学品関連事業はアジア向けの輸出を中心に順調に拡大しました。この結果、売上高は31,097百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は992百万円(同8.1%増)となりました。

[その他]

その他事業は、概ね好調に推移しました。この結果、売上高は12,404百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は929百万円(前年同期は27百万円の損失)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、年初予想で想定していなかった原燃料価格高騰の影響を受けたものの、販売が順調であったことや、それに伴い操業度が上昇したことから好調に推移しました。第2四半期連結累計期間について、下表のとおり連結業績予想を修正することとします。また、通期の連結業績予想については、現時点では年初予想値を変更せず、第2四半期連結累計期間の業績確定時に見直しを行います。

2017年12月期 第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正

(2017年1月1日～2017年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2017年2月8日)	百万円 250,000	百万円 32,000	百万円 31,000	百万円 20,000	円 銭 56 90
今回修正予想 (B)	250,000	34,000	33,000	21,000	59 72
増減額 (B-A)	—	2,000	2,000	1,000	
増減率 (%)	—	6.3	6.5	5.0	

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,437	47,744
受取手形及び売掛金	105,010	105,042
有価証券	39,064	38,204
商品及び製品	73,504	79,764
仕掛品	12,260	12,568
原材料及び貯蔵品	25,504	24,788
繰延税金資産	5,974	6,776
その他	12,669	8,645
貸倒引当金	△451	△452
流動資産合計	324,974	323,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	54,343	56,306
機械装置及び運搬具(純額)	162,963	160,527
土地	19,526	19,486
建設仮勘定	29,904	30,850
その他(純額)	5,090	4,951
有形固定資産合計	271,827	272,122
無形固定資産		
のれん	26,256	25,083
顧客関係資産	28,880	27,341
その他	24,401	23,740
無形固定資産合計	79,537	76,165
投資その他の資産		
投資有価証券	34,023	31,939
長期貸付金	260	271
退職給付に係る資産	827	897
繰延税金資産	7,097	7,129
その他	6,929	6,787
貸倒引当金	△43	△42
投資その他の資産合計	49,093	46,983
固定資産合計	400,458	395,270
資産合計	725,433	718,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,424	37,165
短期借入金	7,626	7,613
未払費用	10,719	11,151
未払法人税等	7,635	7,285
賞与引当金	5,296	7,409
その他の引当金	4	8
その他	28,430	19,628
流動負債合計	96,136	90,263
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	42,172	42,136
繰延税金負債	25,442	24,447
役員退職慰労引当金	209	187
環境対策引当金	3,580	3,580
退職給付に係る負債	11,542	11,170
資産除去債務	4,192	4,111
その他	11,178	10,742
固定負債合計	108,318	106,376
負債合計	204,454	196,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,178	87,177
利益剰余金	304,277	311,624
自己株式	△3,972	△3,795
株主資本合計	476,439	483,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,913	10,547
繰延ヘッジ損益	△110	3
為替換算調整勘定	30,054	23,178
退職給付に係る調整累計額	△4,336	△4,121
その他の包括利益累計額合計	36,520	29,607
新株予約権	719	777
非支配株主持分	7,300	7,364
純資産合計	520,978	521,712
負債純資産合計	725,433	718,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年1月1日 至2016年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)
売上高	120,710	126,342
売上原価	78,889	78,973
売上総利益	41,820	47,369
販売費及び一般管理費		
販売費	6,691	7,316
一般管理費	18,001	18,279
販売費及び一般管理費合計	24,692	25,596
営業利益	17,128	21,773
営業外収益		
受取利息	55	107
受取配当金	1,723	365
持分法による投資利益	10	5
その他	660	575
営業外収益合計	2,450	1,054
営業外費用		
支払利息	184	176
為替差損	191	549
その他	779	1,035
営業外費用合計	1,155	1,761
経常利益	18,423	21,066
税金等調整前四半期純利益	18,423	21,066
法人税、住民税及び事業税	5,885	7,263
法人税等調整額	343	△1,009
法人税等合計	6,228	6,253
四半期純利益	12,194	14,812
非支配株主に帰属する四半期純利益	269	283
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,924	14,529

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)
四半期純利益	12,194	14,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,565	△366
繰延ヘッジ損益	△11	122
為替換算調整勘定	△12,411	△7,127
退職給付に係る調整額	217	215
その他の包括利益合計	△14,771	△7,156
四半期包括利益	△2,576	7,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,845	7,365
非支配株主に係る四半期包括利益	268	291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	55,722	6,798	12,746	9,219	28,110	112,598	8,112	120,710	—	120,710
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,043	5,873	4,703	2,650	625	20,896	3,253	24,150	△24,150	—
計	62,765	12,672	17,450	11,870	28,736	133,494	11,366	144,861	△24,150	120,710
セグメント利益	14,296	2,854	1,423	1,097	918	20,590	△27	20,563	△3,435	17,128

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△3,435百万円には、セグメント間取引消去489百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,925百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	56,020	7,577	12,891	10,957	30,170	117,617	8,725	126,342	—	126,342
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,865	6,570	5,170	2,826	926	23,359	3,679	27,038	△27,038	—
計	63,886	14,147	18,061	13,784	31,097	140,977	12,404	153,381	△27,038	126,342
セグメント利益	17,396	2,858	2,259	1,518	992	25,026	929	25,955	△4,182	21,773

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△4,182百万円には、セグメント間取引消去162百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,345百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた活性炭事業及びエネルギー材料事業について、2017年1月1日に連結子会社であるクラレケミカル株式会社を吸収合併したことに伴い、損益管理区分の見直しを行い、これらの事業を炭素材料事業に統合した上で「機能材料」に含めて記載する方法に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しています。